

病院の実力「食道がん」  
医療機関別2020年治療実績  
(読売新聞調べ)

医療機関名	手術総件数	うち胸腔鏡手術(件)		内視鏡治療(ESD)(件)
		うち胸腔鏡手術(件)	うち縦隔鏡手術(件)	
国立がん研究センター中央	155	139	8	188
がん研有明	124	123	0	202
昭和大	111	111	0	20
都立駒込	79	2	8	116
順天堂大	66	54	2	77
虎の門	61	52	0	118
東京大	49	0	45	70
東京医大	41	31	0	55
東京女子医大	36	17	0	45
東邦大大森	34	34	0	29
慶応大	34	27	0	109
東京医科歯科大	34	21	1	61
国立国際医療研究センター	29	27	0	15
日本医大	24	20	2	40
日本医大多摩永山	20	0	1	10
慈恵医大	19	14	0	80
昭和大江東豊洲	18	16	0	42
三井記念	17	0	13	—
都立多摩総合医療センター	13	13	0	33
東海大八王子	13	8	0	42
武蔵野赤十字	12	4	0	15
江戸川	12	1	0	7
慈恵医大第三	11	11	0	12
聖路加国際	10	2	3	31
国際医療福祉大三田	9	9	0	49
NTT東日本関東	9	3	4	169
国・災害医療センター	8	4	0	4
杏林大	8	0	0	27
日大板橋	7	0	0	0
帝京大	6	0	0	19
公立昭和	6	0	0	11
立川	5	5	0	5
JCHO東京山手メディカルセンター	5	4	0	1
JCHO東京新宿メディカルセンター	4	4	0	9
東京医大八王子医療センター	4	4	0	7
東邦大大橋	4	1	0	8
八王子消化器	4	0	0	7
慈恵医大葛飾医療センター	3	3	0	9
日本大	1	1	0	28
東京臨海	1	1	0	2
佐々総合	1	1	0	0
東大和	1	0	0	3
稲城市立	0	0	0	4
青梅市立総合	0	0	0	1
都立墨東	—	—	—	16

「国・」は国立病院機構、「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明

全国の調査結果は19日の「安心の設計面」に掲載しました。

# 病院の実力

今回は食道がんを取り上げる。中高年男性に多い病気だ。一覽表には、各医療機関の2020年の治療実績を掲載し

## 食道がん

### 胸腔鏡手術傷口小さく

た。食道がん治療の中心は、手術だ。食道の大半を切除し、胃をのど元まで持ち上げてつなぎあわせることが多い。周囲を取り囲む心臓や肺、大動脈などの重要な臓器を傷つけずに行う必要があり、高い技

術が求められる。最も歴史がある「開胸手術」は、胸や腹部を15センチ以上切開する。近年は、胸部に小さな穴を4〜5か所開け、小型カメラと切除器具を入れて行う「胸腔鏡手術」が増えている。傷

口は小さいが、より難度が高い。18年に保険適用となった「縦隔鏡手術」は、左右の鎖骨付近と腹部を数か所小さく切開し、そこから小型カメラと器具を入れて、食道を切除する。従来の胸腔鏡手

術よりも肺への負担が少ないとされるが、歴史が浅く、取り組む医療機関はまだ一部だ。がんが食道の粘膜内にとどまるごく早期なら、口から小型カメラを入れ、電気メスでがんを粘膜ごと取り除く「内視鏡治療」も可能だ。そのほかの選択肢として、放射線治療や抗がん剤治療を組み合わせた治療もある。